

主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本事項	計画コード	事業名	部名	産業建設部		
	20006	亀山エール飯チャレンジ事業	課名	産業振興課 商工業・地域交通G		
	施策体系	施策の大綱	03:交通拠点性を生かした都市活力の向上	財務科目	会計	01:一般会計
		基本施策	02:地域に根ざした商工業の活性化		款	07:商工費
		施策の方向	03:市内事業者等の経営力の向上		項	01:商工費
		戦略プロジェクト	-		目	02:商工業振興費
事業予定期間	R 2 ~ R 2 年度	主な根拠法令要綱等				

目的・概要	対象	市民及び市内飲食店
	目的	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受ける市内の飲食店の経営の安定を図るとともに、地域における消費喚起を図ることを目的とする。
概要		テイクアウト商品の考案と販売を行う店舗に対し支援金を支給する。また、亀山商工会議所と協働して、本事業に参加する飲食店等の情報を集約し、市広報やホームページ等で広く周知し、消費者の購買促進を図る。

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
年度計画	年度計画		○市内飲食店へ支援金の支給 ○参加飲食店のPR 市広報での周知 ホームページ等への掲載		
	年度実績		市内飲食店へ支援金の支給 99件 24,750,000円 参加飲食店のPR 市広報での周知 参加店舗一覧チラシの作成 3回 ホームページへの掲載 ケーブルテレビでのPR		
事業の計画・実績	計画額	事業費		18,000千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	一般財源	0千円	18,000千円	0千円	
	予算額	事業費		25,682千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
その他					
一般財源	0千円	25,682千円	0千円		
決算額	事業費		25,681千円		
	国庫支出金		25,681千円		
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	0千円	0千円	0千円		
人件費	総人件費	0千円	2,352千円	0千円	
	一般職員	0千円	2,352千円	0千円	
	所要人員		0.30		
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
総コスト(+)		0千円	28,033千円	0千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

				令和元年度	令和2年度	令和3年度
指標	名称	チャレンジ参加飲食店の数	活動	計画値		70
		テイクアウト商品の考案にチャレンジする飲食店の数		実績値		99
				単位		店舗
	名称	テイクアウト商品の販売の数	成果	計画値		70,000
		チャレンジ期間中に販売するテイクアウト商品の販売の数		実績値		17,044
				単位		食
名称			計画値			
			実績値			
			単位			

事業の改善	前回評価	[前回評価の対応方針の概要を記入]
	改善行動	[前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか]

		評価	(判定)
事業の評価	活動	[計画どおりに実施できたか] 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受ける市内の飲食店の経営の安定を図るため、市広報、ケーブルテレビ、Facebookでの周知に加え、参加店舗一覧チラシを3部発行して全世帯へ配布するとともに、亀山商工会議所と協働してホームページで継続的にPRを行った。参加店舗に対しては、支援金を速やかに交付するとともに、PR用のぼり旗を作成し、参加店舗へ配布した。	A 計画どおり実施できた
	成果	[成果は順調に上がったか] 参加事業者が99件と計画値を上回る応募があり、飲食業組合等とともに市内飲食店の支援ができた。支援金については、容器やPRなどの準備費用とともに、お徳感のあるテイクアウト商品を考案し販売する費用の一部とすることで、単にテイクアウトによる売上高の増加を見込むだけでなく、店や料理の良さを知ってもらうことでアフターコロナ後の来店者数の増加に繋がった(アンケート結果による)。また、実施時期については、5月上旬には事業を開始できたことにより、「適切であった」と75%の事業者から評価を得ており、消費喚起対策としてはスピーディかつ適切な時期に実施できた。	A 十分な成果を得た

今後の対応方針	課題	[課題は何か] アンケートでは「効果なし」という回答もあり、事業開始時に本事業の趣旨が明確に伝わらなかったことから、更なるPRを行う必要があった。また、今回はタクシー事業者の協力により、無償での亀山エール飯の配達が実現したことから大幅に販売個数が伸びたと考えられるが、事業の効果を最大限にするためにも、配達とセットとした事業を展開することも今後の課題である。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> その他 [その他の場合、その内容を記載] 新型コロナウイルス感染症による地域経済への影響を見極めながら、必要な対策を講じる。
	対応	[課題に対し、どのように対応するか] 新型コロナウイルス感染症の影響による経済対策については、経済の停滞期に実施する給付金や支援金などの経済支援対策と、回復期に実施する本事業やプレミアム付商品券などの消費喚起対策の大きく2つに分けられ、状況を見極めながら必要な対策を講じていく。	
	効果	[対応することで、どのような効果が期待できるか] 新型コロナウイルス感染症の影響により打撃を受けた飲食店の経営の安定を図るとともに、消費喚起により取引事業者や関連事業者への経営支援にも繋がる。	
	対応時期	-	

[1次評価者]	産業建設部 産業振興課 商工業・地域交通グループリーダー 井上 和哉
[最終評価者]	産業建設部 産業振興課長 富田 真左哉

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	/	/	/	A	
	成果	/	/	/	A	

令和2年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		25,682 千円
内訳	令和元年度からの繰越額	千円
	令和2年度の最終予算額	25,682 千円
	令和3年度への繰越額	千円